



[南大阪看護専門学校 2019年度] 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
基礎分野	科学的思考の基盤	国語表現	正確な文章の表現の仕方	井上 新子		書き込み式 日本語表現ノート	1	30
		倫理学	倫理とは 看護行為における倫理	高橋 綾		G supple 事例で学ぶケアの倫理	1	30
		生物学	生命現象の基本原理	富山 浩昌		系統看護学講座 基礎分野 生物学	1	30
		看護に必要な物理	力学、移動、圧力などの看護に必要な物理学の考え方	大又 巧也		看護学生のための物理学	1	15
		情報科学	情報化社会 コンピューター プレゼンテーションの基礎	渡辺 恭彦		系統看護学講座 別巻 看護情報学	1	30
	人間と生活・ 社会の理解	心理学	心理学の基礎	高橋 千津子		あなたの心を科学する バージョンⅢ	1	30
		社会学	社会の成り立ち、社会を知る方法	笠井 啓太		系統看護学講座 社会学	1	30
		英語 I・II	英語の基礎 医療で用いる英会話	中内 啓太		現場ですぐに役立つ! 実践メディカル英会話	2	60
		健康とレクリエーション	体力の増進と健全の心身の育成	好光 栄智			1	30
	音楽	音楽を通して協調性協働性を育成する	河合 清子		式典歌集 プリント	1	15	
人体の構造と機能	解剖生理学 I～IV	人体の構造と機能	宮越 一穂 [実] ※1	①医師 ②看護に必要な人体の構造と機能を理解する 1) 日常生活を営むうえで、人体がどのような構造をもち機能しているかを理解する 2) 疾病によって人体が受ける構造と機能の変化を学習する土台となる正常な人体について理解する	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学	4	120	
	生化学	人体の仕組みと機能を化学的視点で考える	山本 恵三 [実]	①工学博士 ②看護学において、人体を維持する仕組みを理解する上で基本となる、化学的視点を養うことを目標とする 1) 生体を構成する分子の構造を生化学的な視点から理解する 2) 生体内で化学物質がどのように反応して生命を維持しているのかを理解する	系統看護学講座 専門基礎分野 生化学	1	30	
	栄養学	栄養と栄養療法	吉田 有里 [実]	①管理栄養士 ②栄養学は人間の健康づくりのための学問であり、その基礎知識を学習することは、臨床で応用する場合に必要不可欠である。本講義では最新の栄養学的見地に基づいた栄養管理、栄養食事療法への理解を深めながら、看護実践における栄養学的な知識を習得する	系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学	1	30	
	微生物学	病原微生物	新藤 光郎 [実] ※2	①医師 ②病原微生物について、看護現場で必要な知識を身につけて看護現場での感染管理の実践に役立てる	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学	1	30	



[南大阪看護専門学校 2019年度] 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	病気の原因、発生の機序、病気における臓器、組織の変化	小林 庸次 [実]	①医師 ②病理学は病気の原因、発生の機序、病気による臓器・組織の変化、その経過、予後を追求する学問である。病気の原因や各種疾患に共通する変化を学ぶことにより、病気への理解を深め、その治療、予防に対する基礎的知識を会得することを目標とする	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学	1	30
		病態生理学Ⅰ	呼吸器	神島 陽 [実]	①医師(神島、新藤、中谷の3名)、歯科医師(田村のみ) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 呼吸器	1	12
			免疫・アレルギー感染症	新藤 光郎 [実] ※2		系統看護学講座 成人看護学 アレルギー膠原病感染症		12
			歯・口腔系	田村 浩一 [実]		系統看護学講座 成人看護学 歯・口腔		4
			乳癌	中谷 守一 [実]		系統看護学講座 成人看護学 女性生殖器		2
		病態生理学Ⅱ	消化器	小味淵 智雄 [実] ※3	①医師(2名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 消化器	1	22
			栄養・代謝 内分泌	新藤 光郎 [実] ※2		系統看護学講座 成人看護学 内分泌・代謝		8
		病態生理学Ⅲ	血液・造血器	新藤 光郎 [実] ※2	①医師(4名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 血液・造血器	1	8
			腎・泌尿器(透析療法)	久米田 靖郎 [実]		系統看護学講座 成人看護学 腎泌尿器		8
			腎・泌尿器(手術療法)	竹垣 嘉訓 [実]		系統看護学講座 成人看護学 腎泌尿器		6
			女性生殖器	溝口 静子 [実] ※4		系統看護学講座 成人看護学 女性生殖器		8
		病態生理学Ⅳ	運動器	森川 潤一 [実]	①医師(2名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 運動器	1	14
			脳神経	新藤 光郎 [実] ※2		系統看護学講座 成人看護学 脳・神経		16
		病態生理学Ⅴ	循環器	宮越 一穂 [実] ※1	①医師(4名とも) ②各系統別に病態生理、検査・診断、治療などについて学び、疾病の特性を理解し看護を実践するための基礎とする	系統看護学講座 成人看護学 循環器	1	18
			皮膚	清水 奈美 [実]		系統看護学講座 成人看護学 皮膚		4
			眼	米本 由美子 [実]		系統看護学講座 成人看護学 眼		4
耳鼻咽喉	宮田 啓史 [実]		系統看護学講座 成人看護学 耳鼻咽喉	4				
治療論	概説	飛田 忠之 [実] 賀陽 亮太郎 [実]	①医師(飛田、嘉陽の2名)、理学療法士(松原のみ) ②様々な状況下にある患者の治療方法や リハビリテーション	新体系 看護学全書 臨床看護総論 系統看護学講座 臨床外科看護総論	1	8		



[南大阪看護専門学校 2019年度] 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
		リハビリテーション療法	リハビリテーション療法	松原 俊男 [実]	①リハビリテーション療法を学び、基礎的知識とする	系統看護学講座 基礎看護学 臨床看護総論	1	8
		薬理学	薬理学的知識と臨床薬理	梶原 啓伯 [実]	①薬剤師 ②臨床の現場で患者ケアにあたる看護師にとっては、医薬品の作用機序、生体内の動態、有効性、安全性や投与方法など、薬理学的知識とその活用は必要不可欠となる。看護の実践の場で必要とされる臨床薬理学的基礎知識の習得を目指す	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学	1	30
専門基礎分野	社会 生活者の健康と 保障制度	医療概論	医療の変遷と現代医療の概要	小味淵 智雄 [実] ※3	①医師 ② 1)現在の医療がどのように発展してきたかを理解するとともに、最新の画期的な新技術の活用によってもたらされた現代の医療を理解する 2)現代医療の諸問題について理解できる	新体系 看護学全書 6 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 1 現代医療論	1	15
		社会福祉Ⅰ	概論 社会保障制度	岡本 周佳 [実] ※5	①社会福祉士 ② 1)看護職が社会福祉を学ぶ意味を理解し、社会福祉の考え方や視点を理解する 2)現代社会や日常生活における社会問題に気付く力を養い、それらの問題に対応する法律や制度ならびに援助技術を学ぶ	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉	1	15
		公衆衛生学	公衆衛生	久保 慎一郎 [実]	①保健師、看護師、医療情報技師 ②私たちの生活や健康は、社会の制度に支えられている。公衆衛生学は、健康を支える制度そのものである。公衆衛生の歴史や体制、内容を知り、自らの生活や健康を守り、向上を図るための知識を習得する	公衆衛生がみえる	1	30
		看護学概論Ⅰ	看護とは・看護の歴史の変遷・健康と看護・人間理解・看護の機能・看護と倫理	高岡 操 [実] ※6	①看護師、専任教員 ②この授業では、看護の考え方や捉え方を学ぶ。看護についての考え方、捉え方を学んでいく中で、「普遍的な看護」を理解し、自己の看護観の形成へとつなげていくことを目的とする	系統看護学講座 基礎看護学 看護学概論 よくわかる 看護師の倫理綱領 看護覚え書 看護の基本となるもの 看護師の基本的責務	1	30
		基礎看護技術Ⅰ	技術論・環境・安全	山内 雅子 [実] ※7	①看護師(2名とも、夜久は感染管理認定看護師) ②この授業では、看護の方法としての技術のうち、環境の整備、安全の守り方、安楽な技術の提供の方法、感染予防の基礎技術を学ぶことを目的とする	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 よくわかる 看護師の倫理綱領 看護覚え書 看護の基本となるもの	1	18
			感染	夜久 直也 [実]			2	2
基礎看護技術Ⅱ	コミュニケーション技術・援助的關係	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ② 1)看護の場面におけるコミュニケーションの意義と特性を理解する 2)看護に必要な接遇マナーについて学び、技術を身につける 3)人間関係作りの基礎となるコミュニケーションに関する理論を理解し効果的なコミュニケーションの方法を学ぶ 4)看護における教育的支援の目的を理解し、効果的なアプローチの方法を身につける	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ	1	30		



[南大阪看護専門学校 2019年度] 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
専門分野 I	基礎看護学	基礎看護技術Ⅲ	食事・排泄・活動・運動・休息	井手窪 澄子 [実] ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1)人間の活動と休息を理解し、対象が健康生活を送るために必要な援助を理解する 2)栄養と食事のニーズを充足するための基礎的知識と援助方法を理解する 3)食事行動や健康のレベルなどに応じた栄養と食事のニーズを充足させる方法について効果的な看護の援助技術を習得する 4)人間の排泄を理解し、患者が健康的に生活を送るために必要な排泄援助を習得する	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	30
		基礎看護技術Ⅳ	身体の清潔援助技術	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ②身体を清潔に保つことは、人間が健康で生活するためには不可欠である。ここでは、清潔の意義を身体的、精神的、社会的な側面から理解し、援助する方法を習得する 1)清潔、衣生活の意義とその援助の目的を理解する 2)清潔、衣生活の援助技術を習得する	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	30
		基礎看護技術Ⅴ	バイタルサイン・フィジカルアセスメント	高田 紳吾 [実] ※10	①看護師、専任教員 ② 1)ヘルスアセスメント(フィジカルアセスメント)の意義と根拠が理解できる 2)一般状態の観察、バイタルサインを測定することの意義と根拠が理解できる 3)バイタルサイン(呼吸・体温・脈拍・意識)を正確に測定できる 4)フィジカルイグザミネーションが正確に実施できる	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 フィジカルアセスメントガイドブック	1	30
		基礎看護技術Ⅵ	看護過程	高岡 操 [実] ※6	①看護師、専任教員 ② 1)科学的思考・問題解決思考に基づく看護過程の展開における思考が理解できる 2)ゴードンの機能的健康パターンによる看護診断に基づいた看護過程を理解し、対象者のニーズを満たすための看護過程の展開方法が理解できる	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		基礎看護技術Ⅶ	与薬 検査	山内 雅子 [実] ※7	①看護師 ② 1)診療過程における看護師の役割を理解し、治療処置に伴う援助技術の基本を習得する 2)与薬を安全かつ正確に行う技術を習得する 3)治療・処置時の対象者の心理と看護者の役割が理解できる	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	30
		基礎看護技術Ⅷ	呼吸 循環を整える技術 救急救命処置 創傷管理	東浦 龍至 [実] ※11 村上 巖 [実] ※12	①看護師(2名とも、村上は皮膚・排泄ケア認定看護師)、専任教員(東浦のみ) ② 1)救急時、終末期における看護の役割を理解し、必要な基礎的な技術を修得する 2)効果的な呼吸への援助方法を習得する 3)安全・安楽な電法の援助方法を習得する	系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術	1	26 4



[南大阪看護専門学校 2019年度] 1年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教科書	単位数	時間
		臨床看護総論	経過別看護・治療処置別看護・主要症状別看護	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ② 1)多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階の人々に、基本的な看護学の知識や技術を統合し、応用するプロセスを学ぶ 2)看護師に求められる問題解決能力の基礎を学習することで、主体的学習行動を習得することができる	系統看護学講座 基礎看護学 臨床看護総論	1	30
	実臨習床	基礎看護学実習 I					1	15
専門分野 II	成人看護学	成人看護学概論	成人看護学概論	高田 紳吾 [実] ※10	①看護師、専任教員 ② 1)成人の身体的・心理的・社会的側面からとらえ、個人およびその家族の発達段階と発達課題を統合的に理解できる 2)学習者としての成人の特徴をとらえ、健康教育や患者教育の基礎が理解できる 3)成人の生活に焦点を当て、成人期にみられる健康障害や成人の看護に有用な概念について理解できる	系統看護学講座 成人看護学 成人看護学総論	1	30



[南大阪看護専門学校 2019年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
基礎分野	人間と生活・社会の理解	人間関係論	人間と人間の相互関係を心理学的視野より学ぶ	高橋 千津子	/	テキスト心理学	1	30
		教育学	教育学の基礎知識及び教育における社会の課題	上田 勝江		1	30	
専門基礎分野	健康の支援と 社会保障の制度	社会福祉Ⅱ	社会福祉の実際	岡本 周佳 [実] ※5	①高等学校教諭(一種)、社会福祉士 ②この授業では、社会福祉の考え方について、現代の社会状況や生活・暮らしの視点から理解を深めます 本授業の目標は、 1) 福祉的な視点を理解し、専門職として現場で応用できるようになること 2) 社会福祉領域との連携への素地をつくることです	系統看護学講座 社会保障・社会福祉	1	30
		社会保障論	社会保障制度	新田 正尚 [実] 酒井 哲雄	①介護支援専門員(新田のみ) ②この授業では、社会保障制度の目的、機能、範囲、歴史、組織、財政等について学習する。とくに、看護の分野では医療保険、介護保険、年金制度についての理解が必要であり、基本的な仕組みなど具体的に学び、看護の対象を支えている社会保障制度の概観をつかむことを目的とする	よくわかる社会保障	1	15
		関係法規	保健師助産師看護師法 医療法規ほか	朽木 悦子 [実] 高橋 育美 [実]	①保健師(2名とも)、看護師(2名とも)、精神保健福祉士(高橋のみ) ②看護職を取り巻く行政法・社会法の分野は、国民のニーズの変化に伴い、日々変化してきており、「看護」の現場を取り巻く医療法規の解釈は、看護業務の適切な履行、事故防止、また事故への対処において重要な要素である。 本授業では、保健師助産師看護師法を中心に、医療法、保健衛生法規、労働関係法規の概要を学び、看護職を取り巻く法的背景を理解する	系統看護学講座 看護関係法令 私たちのよりどころ保健師助産師看護師法 図説 国民衛生の動向	1	15
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論Ⅱ	看護理論 看護研究	高岡 操 [実] ※6	①看護師、専任教員 ② 1) 看護理論の変遷を学び、看護理論家を通じて看護の本質とは何かを考える姿勢を身につける 2) 看護研究の基礎的知識を学び、看護実践を通して研究的視点を広がる	系統看護学講座 基礎看護学1 看護学概論 看護理論 看護理論20の理解と実践への応用 系統看護学講座 別巻 看護研究	1	15
		実 臨 習 地	基礎看護学実習Ⅱ					2



[南大阪看護専門学校 2019年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
成人看護学		成人看護学方法論Ⅰ	急性・重症看護	高田 紳吾 [実] ※10 樋口 雄之助 [実]	①看護師(2名とも、樋口は救急認定看護師)、専任教員(高田のみ) ② 1)急性・重症看護をもとに、生命の危機状況への支援、合併症の予防、回復への援助について学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 呼吸器 循環器 成人看護学 医学書院 ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		成人看護学方法論Ⅱ	周手術期看護	東浦 龍至 [実] ※11	①看護師、専任教員 ② 1)手術を受ける患者・家族に対する生命維持、苦痛の緩和、早期回復に向けた看護について学ぶ 2)手術による身体侵襲とボディイメージの変化を理解し、手術後の機能障害に対する援助や手術後の継続的な自己管理に対する援助を学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 消化器 系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 ゴードン看護診断マニュアル	1	30
		成人看護学方法論Ⅲ	セルフケア セルフコントロール	高田 紳吾 [実] ※10	①看護師、専任教員 ② 1)慢性疾患など生涯にわたりコントロールを必要とする対象及び家族の特徴を知りその状況に応じた看護の役割と方法を学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 消化器 内分泌 腎泌尿器	1	30
		成人看護学方法論Ⅳ	リハビリテーション看護	山内 雅子 [実] ※7 村上 巖 [実] ※12	①看護師(2名とも、村上は皮膚・排泄ケア認定看護師) ② 1)回復期における患者の身体的、心理的、社会的な側面について学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 脳神経 腎・泌尿器 女性生殖器	1	30
		成人看護学方法論Ⅴ	がん看護 緩和ケア	東浦 龍至 [実] ※11 神崎 美和 [実]	①看護師(2名とも、神崎はがん専門看護師/がん性疼痛認定看護師)、専任教員(東浦のみ) ② 1)がん患者の全人的苦痛を理解し、治療に応じた看護の方法と症状が及ぼす苦痛に対しての看護について学ぶ 2)疾患によって起こる患者の症状や、治療に必要な看護について学ぶ	系統看護学講座 成人看護学 血液・造血器 アレルギー 皮膚 ナーシンググラフィカ 成人看護学6 緩和ケア	1	30
老年看護学		老年看護学概論	老年看護の概念・特徴	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ② 1)高齢者を取り巻く社会の動向を理解する 2)高齢社会における保健医療福祉制度や施策を理解する 3)加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する 4)多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護について理解する	系統看護学講座 老年看護学	1	30
		老年看護学方法論Ⅰ	老年人特有の障害・症状への看護	前岡 富士子 [実] 山内 恵美 [実]	①看護師(2名とも)、介護支援専門員(山内のみ) ②さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護について学ぶ 1)高齢者に特有な健康障害を理解する 2)健康障害に応じた援助方法を理解する 3)高齢者を看護する留意点について理解を深める	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 系統看護学講座 老年看護学 老年看護 病態・疾患論 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	30



[南大阪看護専門学校 2019年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
専門分野Ⅱ		老年看護学方法論Ⅱ	自立生活への看護	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ②さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活および健康を支える看護について学ぶ 1)高齢者の日常生活を支える看護について理解する 2)さまざまな健康状態や受療状況に応じた高齢者の看護を理解する	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 系統看護学講座 老年看護学 老年看護 病態・疾患論 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	30
		老年看護学方法論Ⅲ	看護過程・看護技術	徳田 千代乃 [実] ※13	①看護師、専任教員 ②紙上事例を基にさまざまな健康状態にある高齢者の看護過程を展開し、受療状況に応じた看護について理解を深める	系統看護学講座 老年看護学 老年看護 系統看護学講座 老年看護学老年看護 病態・疾患論 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術	1	15
	小児看護学	小児看護学概論	小児看護の特徴 小児保健	上田 智恵美 [実]	①看護師、専任教員 ② 1)小児看護の意義・役割・機能が理解できる 2)子ども観の歴史の変遷・小児看護の変遷を知ることが出来る 3)小児期の特徴と各期の成長・発達について理解できる 4)小児保健の動向と保健対策の概要を知り、看護の役割と機能について学ぶ	新体系看護学全書 小児看護学概論 小児保健 国民衛生の動向 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術	1	30
		小児看護学方法論Ⅰ	疾患の理解	藤岡 弘季 [実]	①医師 ②小児の発達と発育を軸とした小児疾患の病態を理解する	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害を持つ小児の看護	1	30
		小児看護学方法論Ⅱ	小児看護の方法	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ② 1)病気や入院による子どもとその家族に及ぼす影響と看護について理解することができる 2)小児の疾患について、小児の特徴を踏まえて理解し、それぞれの状態に応じた看護が展開できる 3)子どもに起こりやすい症状について、それぞれの状態に応じた看護援助の方法を考えることができる 4)医療安全の観点から小児の発達課題に伴うリスクについて考えることができる	新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害を持つ小児の看護 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術	1	30
		小児看護学方法論Ⅲ	看護過程	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ②小児期にある健康障害を持つ対象を理解し、それぞれの状態に応じた看護が展開できる能力を身につける 1)疾患・治療が及ぼす影響を最小限にし、成長・発達を促す援助を考えることができる 2)患児及び家族への生活指導に対して、計画的・実践的な援助を考えることができる	新体系看護学全書 小児看護学概論 小児保健 健康障害を持つ小児の看護 写真でわかる小児看護技術	1	15
		母性看護学概論	母性看護の概念・特徴・母性保健	堀川 真知子 [実] ※14	①助産師、看護師 ② 1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツを基本に母性看護の対象の特性を理解しあらゆる健康レベルに応じた看護が実践できる基礎知識を習得する 2)母性看護の概念・倫理および母性看護の意義とその役割について理解すると共に女性のライフサイクル各期における健康課題及びその看護の役割を学ぶ	系統看護学講座 母性看護学① 母性看護学概論 系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 国民衛生の動向	1	30
		母性看護学方法論Ⅰ	母性・周産期各期の理解	溝口 静子 [実] ※4	①医師 ② 1)マタニティサイクル(妊娠、分娩、産褥、新生児期)の正常及び異常経過について理解する 2)ライフサイクル各期(思春期、成熟期、更年期、老年期)の健康と健康障害について理解する	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論	1	30





[南大阪看護専門学校 2019年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
	看護学	母性看護学方法論Ⅱ	周産期看護	堀川 真知子 [実] ※14 松原 朋子 [実] 宮本 美由紀 [実]	①助産師(3名とも)、看護師(3名とも) ② 1) マタニティサイクル(妊娠・分娩・産褥および新生児期)の特性について理解する 2) マタニティサイクル(妊娠・分娩・産褥および新生児期)にある母子とその家族が健康的な生活を送るために必要な看護を理解する 3) 授業を通して自己の母性観を発展させることができる	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 根拠と事故防止から見た母性看護技術	1	30
		母性看護学方法論Ⅲ	看護過程	井手窪 澄子 [実] ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1) 母性看護に必要な基礎的技術を学ぶ 2) 既習の妊婦、産婦、褥婦および新生児の正常経過を理解し、母子とその家族に対して必要な看護が展開できる基礎的能力を養う	系統看護学講座 母性看護学② 母性看護学各論 根拠と事故防止から見た母性看護技術	1	15
精神看護学		精神看護学概論	精神看護の概念・特徴 精神保健	増田 明 [実] ※15	①看護師 ②このころの健康とは何か、こころが病むとはどういうことなのか、これらを学習することで広く人間を理解することを探求する。さらに、精神看護領域における基本的援助技術及び看護場面における介入の裏付けとなる対人関係論について学習する。また、精神保健福祉制度の歴史の変遷及び関連法規についての理解を深め、最近の動向を踏まえて看護のあり方を探求し、実践能力の向上を図る	系統看護講座 精神看護学 精神看護の基礎	1	30
		精神看護学方法論Ⅰ	精神疾患の理解	岩瀬 緯子 [実]	①医師 ②精神科の医療機関のみならず、幅広い分野で知識を生かせるように習得していく。まず、基盤となる人権について、その歴史を学び理解を深める。そして、すべての疾患の看護に共通する精神の働きを知ると共に、各精神疾患について、その特徴と幅広い知識を学ぶ	系統看護講座 精神看護学 精神看護の基礎	1	30
		精神看護学方法論Ⅱ	精神看護援助	増田 明 [実] ※15	①看護師 ②精神看護の対象の特性を理解し、こころの健康を維持するため援助と、精神障害者及び家族への援助に必要な基礎的知識を学び、社会資源を活用した地域生活を支えるシステムを探索する	系統看護講座 精神看護学 精神看護の展開	1	30
		精神看護学方法論Ⅲ	精神看護過程	増田 明 [実] ※15	①看護師 ②個々の事例を通して、精神看護に必要な自己洞察について学び、こころの問題に直面している対象に必要な看護が展開できる能力を身につける	系統看護講座 精神看護学 精神看護の基礎 系統看護講座 精神看護学 精神看護の展開	1	15
実 臨 習 地		成人看護学実習					6	270
		老年看護学実習Ⅰ					2	90



[南大阪看護専門学校 2019年度] 2年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
統合分野	在宅看護論	在宅看護概論	在宅看護の概念 地域保健医療福祉の連携	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②在宅看護のイメージ化をはかり、地域における看護師像を描くことができる 1) 在宅看護が必要とされる背景と在宅看護の概念が説明できる 2) 在宅看護の対象、活動の場、看護活動の特徴が説明できる 3) 在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源についてわかる 4) 地域での看護師はどうあるべきかを自己の意見として述べるることができる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	1	30
		在宅看護方法論Ⅰ	在宅看護の特徴と看護の実際	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②在宅において合理的かつ経済的な方法を用い、医療処置等家族への療養指導を踏まえた看護技術を提案するための基礎的な知識を習得する 1) 在宅医療で用いられている機器や器具について理解することができる 2) 看護技術を在宅で提供するときの考え方の基礎を身につける 3) 事例に基づいた療養生活を支援する自助具について企画し、発表することができる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	1	30
		在宅看護方法論Ⅱ	在宅療養者の理解	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②在宅療養生活のQOLを高め、より長く維持、継続させていくための方策を学ぶ 1) 訪問看護導入から終結までの流れが説明できる 2) 在宅療養者の特徴に基づく在宅における看護が理解できる 3) 様々な社会資源を用いながら療養支援を考えることができる 4) 自己決定を支える支援を考えることができる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術	1	30
		在宅看護方法論Ⅲ	看護過程	太田 和江 [実] ※16	①看護師、元専任教員 ②訪問看護過程の特徴を見出し、看護展開の基礎能力を身につける 1) 在宅看護におけるアセスメントの方法と方向性を理解する 2) 生活の視点で考えた支援計画が立案できる 3) 在宅ケアのネットワーク構築の必要性が理解できる	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術 ゴードン看護診断マニュアル	1	15



[南大阪看護専門学校 2019年度] 3年次開講科目講師教科書一覧表

分野	教育内容	科目名	教科内容	講師名 [実]:実務経験者	①実務経験のある講師の資格 ②実務経験を活かした授業への取り組み	教本	単位数	時間
		小児看護学実習					2	90
		母性看護学実習					2	90
		精神看護学実習					2	90
看護の統合と実践		看護管理	看護管理	宮崎 妙子 [実] ※17 渡邊 美津江 [実]	①看護師(2名とも)、認定看護管理者(宮崎のみ) ② 1)看護管理について基礎的な理解を深め、医療チーム及び多職種との連携ができる 2)看護実践におけるマネジメントについて考えることができる 3)良質な医療及び看護について追求する姿勢を育てる	系統看護学講座 看護管理	1	15
		看護研究	事例研究発表	徳田 薫 [実] ※8	①看護師、専任教員 ② 1)これまでの看護実践を看護理論や研究成果と照合し、自己の看護観を明確にする 2)事例研究の過程やその結果を通して、看護職者としてエビデンスに基づく実践を取り入れ、研究力を身につけることができる		1	15
		災害看護	災害時の看護の役割と技術	宮崎 妙子 [実] ※17	①看護師、認定看護管理者 ② 1)災害医療・災害看護に関する基礎的知識・技術を修得できる 2)災害における看護の役割について理解し、命の大切さと人々の生活を考えることができる 3)防災・減災マネジメントの一環として、学校防災訓練を企画運営することができる	系統看護学講座 災害看護学 国際看護学 東日本大震災 石巻災害医療の全記録	1	30
		看護の統合と実践	臨地場面での総合的な技術の習得と対応	井手窪 澄子 [実] ※9	①助産師、看護師、専任教員 ② 1)臨床に近い状況下で複数の患者への看護を考え、総合的な判断や対応する能力を養う 2)診療の補助技術における事故防止のための知識・技術を習得し、安全な看護を提供するための判断力・実践力を高めることができる	新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント 医療安全 医療安全ワークブック	1	30
臨地		在宅看護論実習					2	90



[南大阪看護専門学校 2019年度] 3年次開講科目講師教科書一覧表

	実習	統合実習		2	90
--	----	------	--	---	----